

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	プレゼンテーション	
科目基礎情報							
開設学科	ITスペシャリスト科		コース名	モバイルアプリ専攻		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間	水曜 5時限目～		授業形態	実習
教科書/教材	30時間でマスタープレゼンテーション＋PowerPoint2016(実教出版)						
担当教員情報							
担当教員	白幡知之・煤系統一郎			実務経験の有無・職種	有・講師		
学習目的							
社会人に一番必要となる素養はコミュニケーション能力と言われている。コミュニケーション能力が必要とされる場面は、マンツーマンで一人の相手と対応する場合、プロジェクトグループなど少人数の集団の中でのコミュニケーション、そして1対多数を相手とするプレゼンテーションの場面などである。この授業では主に多人数相手のプレゼンテーション技術と心構え、更にプレゼンテーション資料を作成するための道具であるPowerPointの基本操作を習得することを目的としている。							
到達目標							
自分に与えられた条件を吟味し、プレゼンテーションに必要なものを整理できるよう。聞き手に伝わるためにはどのようなストーリーで、どのような資料を作成するのかなど、良いプレゼンテーションを行うためのアイデアが出せるようになる。資料作成ツールであるPowerPointが使いこなせる。特にビジュアルコンテンツを有効に活用できる。実際にプレゼンテーション(ライトニングトーク)を行い、人前で発表できる。就職活動や卒業制作発表時に役立てることができる。							
教育方法等							
授業概要	キャリアサポートブックに沿って就職活動の流れと書類の作成方法について学ぶ。まずはじめに自己分析を行い自分の興味・志向を確認する。次に業界と職種を理解し自分が進むべき方向を見定め、企業へのエントリー方法と履歴書の書き方を学ぶ。さらに筆記試験と面接試験の概要を学び後期に受講する「キャリアデザイン2」の実践的学習につなげる。筆記試験対策として毎回「就活ドリル」の問題を演習する。一般教養・SPI・面接対策 履歴書・作文作成。						
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。プレゼンテーションを聞く態度も評価の対象となりうる。でなお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	70%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	プレゼンテーション概要		プレゼンテーションの必要性、プレゼンテーションの作成方法が理解できる				
2回	プレゼンテーションのストーリー		プレゼンテーション全体のストーリーのまとめ方、情報収集の仕方が理解できる				
3回	PowerPoint操作(1)		簡単なプレゼンテーションシートが作成・編集できる。スライドショーができる				
4回	PowerPoint操作(2)		グラフが作成できる。写真、動画、音声など、ビジュアルコンテンツが作成できる				
5回	PowerPoint操作(3)		アニメーションを使って効果的なプレゼンテーション資料を作成できる				
6回	ストーリーシート完成(4)		提示された発表課題に対してアイデアをまとめる。ブレインストーミングができる。カード化できる				
7回	ストーリーシート完成(5)		(1)で出されたアイデアを「プレゼンテーションストーリーシート」にまとめることができる				
8回	発表資料の作成(1)		ストーリーシートに基づき、PowerPointを使って発表資料を作成できるようになる				
9回	発表資料の作成(2)		発表者に伝わる効果的な発表資料にまとめられる				
10回	セリフ作成、リハーサル(1)		発表資料を基にプレゼンテーションのシナリオが作成できる				
11回	セリフ作成、リハーサル(2)		プレゼンテーションのリハーサルを行い、改善点をフィードバックできる				
12回	プレゼン実施。他者評価(1)		プレゼンテーションを実施し、自己評価および他社評価ができる				
13回	プレゼン実施。他者評価(2)		プレゼンテーションを実施し、自己評価および他社評価ができる				
14回	プレゼン実施。他者評価(3)		プレゼンテーションを実施し、自己評価および他社評価ができる				
15回	評価と改善		ビデオによる自己評価ができる。聞き手からのフィードバックを素直に聞き入れ改善できる				